



平成30年12月分 大分税関支署管内貿易概況

平成31年2月13日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は578.2億円、前年同月比21.3%減、10か月ぶりのマイナス
船舶類が全減、映像機器、鉄鋼、事務用機器などが減少
銅及び同合金、有機化合物などが増加

輸入額は1,073.8億円、前年同月比15.2%減、11か月ぶりのマイナス
石炭、液化天然ガス、原油及び粗油などが減少
揮発油、銅鉱などが増加

主要品目 (単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	10,988	108.8	↑	鉄鉱石	15,526	102.8	↑
鉄鋼	19,361	81.7	↓	銅鉱	23,291	106.8	↑
銅及び同合金	8,571	117.1	↑	石炭	9,473	43.4	↓
事務用機器	5,745	58.2	↓	原油及び粗油	26,887	97.8	↓
映像機器	6,827	58.6	↓	揮発油	10,855	152.4	↑
船舶類	—	全減	—	液化天然ガス	10,391	80.1	↓

港（通関官署）別の状況 （詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

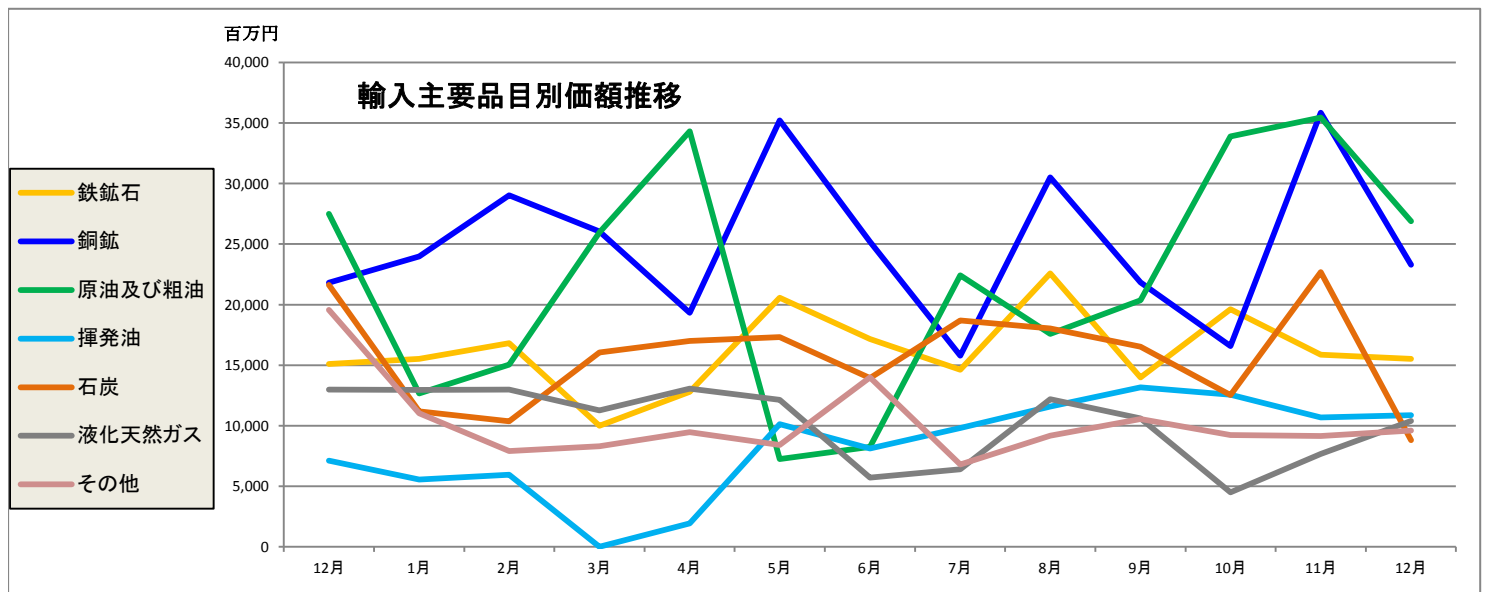
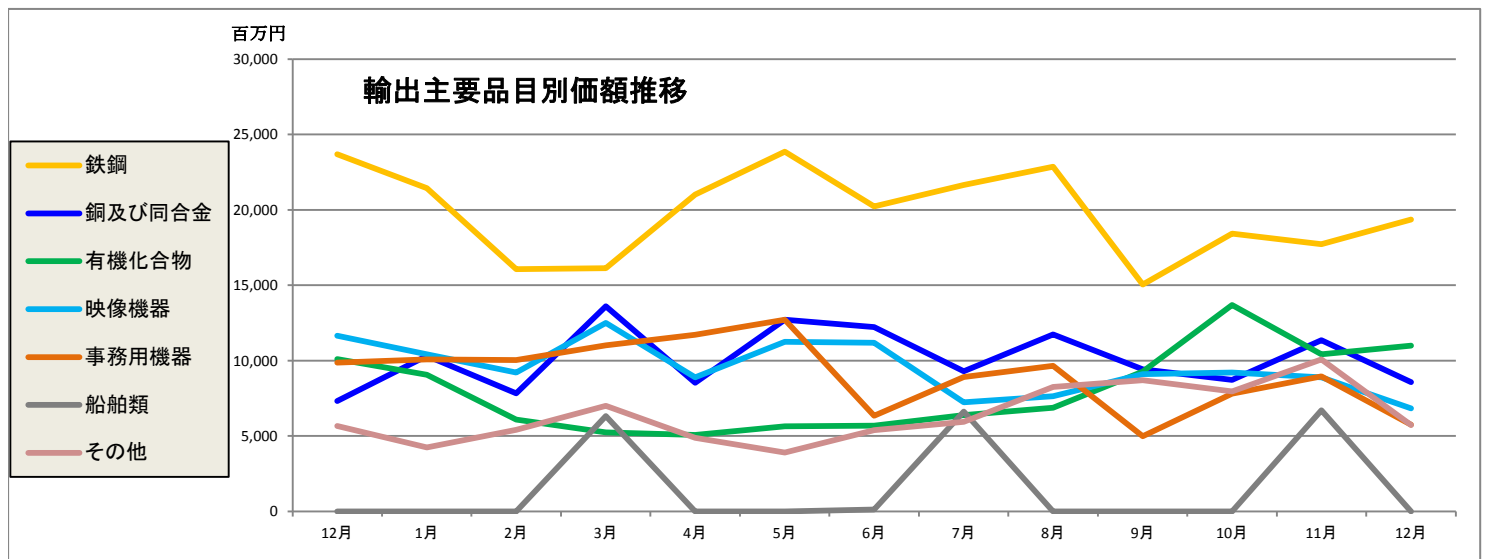
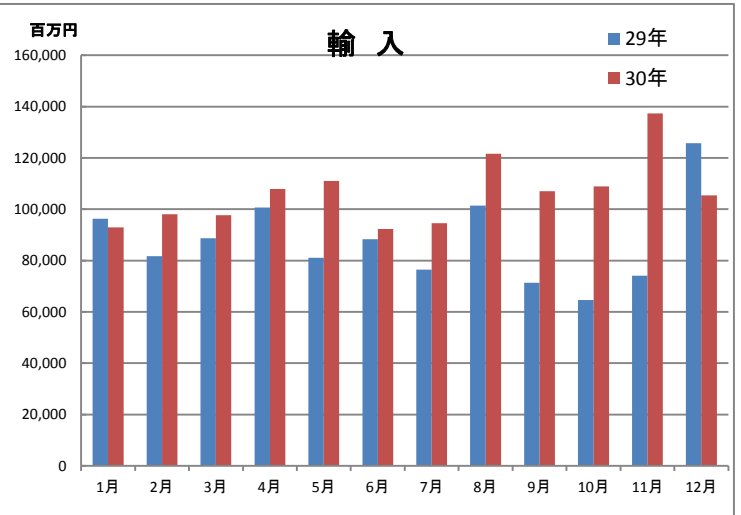
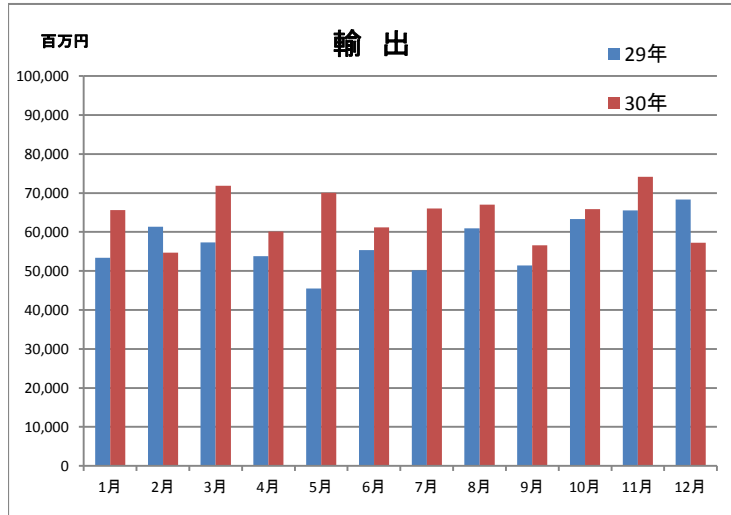
- 大 分） 輸出は572.2億円、前年同月比16.2%減。映像機器、鉄鋼などが減少、銅及び同合金などが増加
輸入は1,053.5億円、前年同月比16.2%減。石炭、液化天然ガスなどが減少、揮発油などが増加
- 佐 伯） 輸出は1.4億円、前年同月比91.2%減。船舶類が全減、魚介類が全増、木材が増加
輸入は10.3億円、前年同月比3.8倍。船舶類が全増、植物性原材料、石こうなどが増加、魚介類が全減
- 津久見） 輸出は4.6億円、前年同月比87.2%減。船舶類、セメントなどが減少、石灰石などが増加
輸入は10.1億円、前年同月比69.4%増。石炭が増加、石油コークス、アルコール飲料が減少
- 大分
空港） 輸出入実績なし

港 名（通関官署） (単位：百万円、%)

区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	57,224	83.8	↓	10か月ぶりのマイナス	105,346	83.8	↓	11か月ぶりのマイナス	入超	48,122
佐 伯(佐 伯)	143	8.8	↓	2か月連続のマイナス	1,032	377.8	↑	2か月ぶりのプラス	入超	889
津久見(津久見)	456	12.8	↓	3か月ぶりのマイナス	1,005	169.4	↑	2か月連続のプラス	入超	549
大分空港(大分空港)	—	—			—	—			—	—
大 分 県	57,823	78.7	↓	10か月ぶりのマイナス	107,384	84.8	↓	11か月ぶりのマイナス	入超	49,560

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。
※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。
※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>